

総務常任委員会行政視察 実施報告書

平成 30 年 5 月 8 日～10 日

- 群馬県前橋市
「マイナンバーカードの活用」について
- 新潟県糸魚川市
「糸魚川市駅北大火」について
- 富山県富山市
「TOYAMA キラリ」について

総 務 常 任 委 員 会

群馬県前橋市

「マイナンバーカードの活用」について

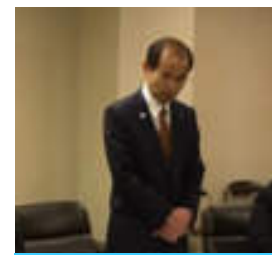
前橋市は明治25年の市制施行以来、群馬県の県庁所在地として、県内の政治・文化・産業経済をけん引する中心的な役割を担っている。また市の北部には日本百名山にも数えられる赤城山があり、自然豊かな街である。



前橋公園

1. マイナンバーカード交付率普及促進のため

前橋市では、マイナンバーカードの交付率は全市民の8.4%（H29.5月現在）と低く、普及促進のため、平成25年度から総務省ICT街づくり推進事業の委託を受けて、マイナンバーカードを活用した利便性向上実証実験を実施した。



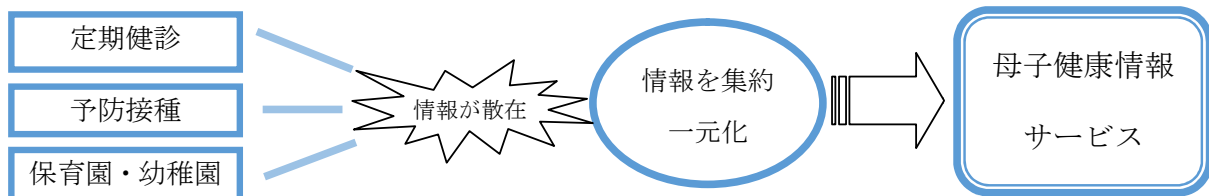
挨拶をする佐藤委員長

カード1枚で、母子健康情報サービスやマイタク（タクシー運賃補助）での利用ができる。また、クレジットカードのポイントを変換し、公共施設への入館やオンラインサイトでの特産品購入など新たな活用方法を広げている。



2. 母子健康情報サービス

これまで、母子健康情報配信の担当部署がそれぞれ異なることから、散在して管理されるという弊害が生じていた。

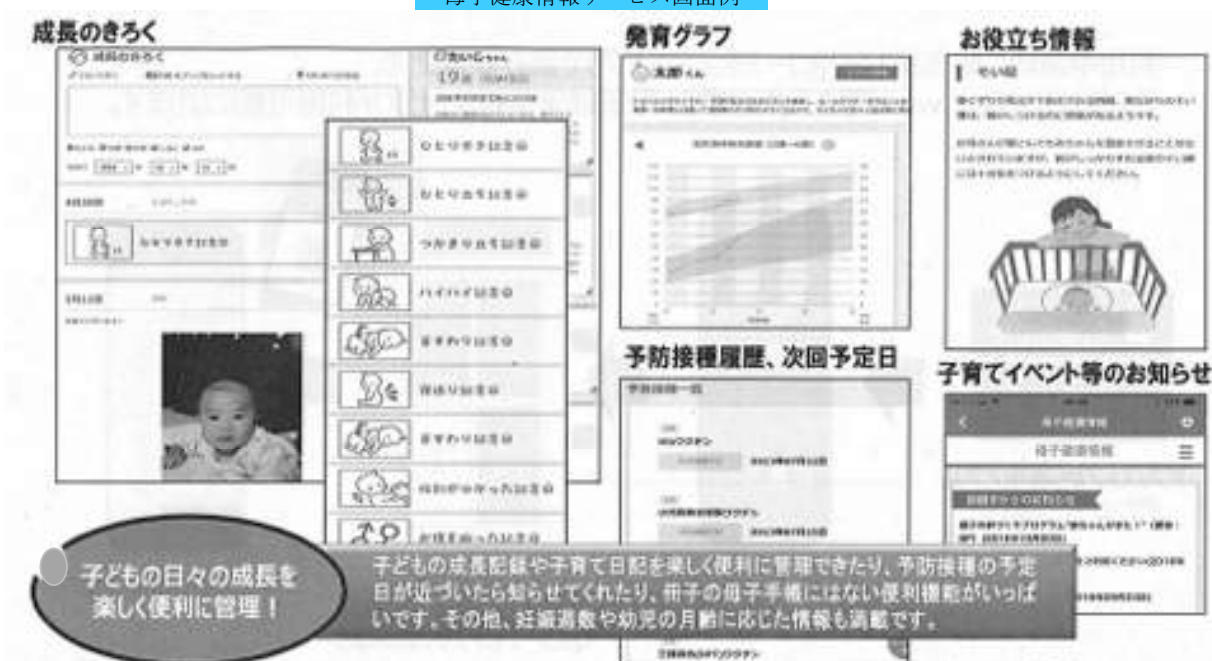


▷ 子育てに忙しい親への利便性を高めるため、インターネット上の利用者専用サイトにおいて、スマートフォン、タブレット又はパソコンを通じて、いつでも・どこでも母子健康手帳に記載の身長や体重など成長の閲覧を可能とした。

▷ 市からの母子健康に係るお知らせ等の情報配信、妊婦や乳幼児に係る健診結果情報の入力や閲覧、予防接種のスケジュール、接種時期が近づくと自治体から個別にお知らせを配信する通知機能などができるサービスを実施している。

● マイナンバーカード電子証明書機能を鍵代わりにログインすることによって、セキュリティを高め、これまで散在していた情報を集約し、一元化された閲覧ができる仕組みとなっている。母子健康手帳を持ち出す煩わしさもなく、スマートフォンから手軽に子どもの記録や情報確認でき、利用者に好評である。

母子健康情報サービス画面例



3. タクシー運賃助成制度「マイタク」

前橋市のタクシー運賃助成制度「マイタク」は、高齢者や障がい者など、移動困難者を対象にタクシー運賃を補助する制度である。現在、紙の登録証・利用券にて発行している。



○現在のマイタク（紙運用）

利用登録証と利用券の提示・確認・回収、割引料金計算、清算事務がすべて手作業

【利用者】利用登録証、利用券忘れ、紛失も多い。

【運転手】料金計算に時間がかかる、間違いも。

- ▷ 前橋市では「ポイント制度導入による地域経済の活性化」を目的とし、実証実験に参画した。
- ▷ 総務省から公的個人認証サービス利用認可を受けた「一般社団法人 ICT まちづくり共通プラットフォーム推進機構」との共同事業である。
- ▷ 前橋市では、民間企業や地域金融機関が発行するポイントとボランティア活動に取り組んだ市民に与えられる市独自の「地域活動ポイント」をマイナンバーカードに集約し「前橋ポイント」とした。



☛ 商店での買い物の代金、美術館などの公共施設の入館料の支払いや「前橋中心商店街協同組合」が発行する商品券の交換などに交換できる。

ポイント活用先	開始時期
めいぶつチョイス(市公認通販サイト)で特産品を購入	平成 29 年 9 月
ヴェント前橋・駅構内で特産品を購入	平成 29 年 10 月
市有施設(アーツ前橋、前橋文学館)入館料	平成 29 年 10 月
Qのまち商品券に交換し、中心商店街で日用品等を購入	平成 29 年 10 月

将来的には既存行政ポイント（介護予防活動・健康ポイントなど）との連携を検討。

5. コンビニ交付サービス

コンビニでの交付手数料を安価に設定した。

(住民票 1 通：コンビニ 250 円／市の窓口 350 円)

6. マイナンバーカード取得支援

- ▷ 郵便局にマイナンバーカード申請端末を設置

前橋市と日本郵便が連携し、ネット環境がない高齢者などに対し、手助けを行う。

- ▷ 支援カウンター

前橋市は民間と連携して、ポイントの利用促進にむけた取り組みをおこなうため、専門スタッフによる取得の手伝いを行っている。

○主な質疑

(質問) マイタク導入の経緯について

(答弁) 高齢者などの移動困難者対策のため、市長の選挙公約で掲げていた。

(質問) カード発行者の年代は

(答弁) 発行枚数は多くないが、高齢者が多く、マイタク制度とマッチしたのでは。子育て世代では少なく、一度役所に来なくてはならないためと考える。

(質問) マイタクの国庫補助などは

(答弁) 平成 27 年度は地方交付税があったが、平成 28 年度から一切なく全額持ち出しとなっている。実績金額は、133,487 千円となっている。

(質問) 市民からの反応は

(答弁) マイナンバーカード交付率は大きくは伸びていないが、カードの活用はマイナンバーを使うことではないということを継続して周知していきたい。



新潟県糸魚川市

「糸魚川市駅北大火」について

糸魚川市は、中部山岳国立公園などを有し、海岸、山岳、溪谷、温泉など変化に富んだ個性豊かな自然に恵まれた都市である。また、森林資源やヒスイ・石灰岩等の鉱物資源や水資源など地域資源が豊富で、フォッサマグナについては日本列島生誕の謎を秘めた世界的な学術資源となっている。



フォッサマグナミュージアム

1. 強い南風で大規模火災に

平成 28 年 12 月 22 日、ラーメン店での大型こんろの消し忘れによって火災が発生した。焼損した一帯は、糸魚川駅から北側に位置している。そこは、木造で古い建築物が多く、家屋の隣同士の間隔や道幅が狭いため消火活動が困難な地区であった。加えて、強い南風により火元より北へ約 300m の日本海沿岸まで燃え広がった。



挨拶をする佐藤委員長



被災エリア

出火場所

負傷者	17人（一般2人・消防団員15人） ※中等症1人、軽症16人 死者なし
被災者状況	145世帯 260人 56事業所
焼損棟数	147棟（全焼120棟・半焼5棟・部分焼22棟）
焼失面積	約40,000平方メートル（被災エリア）
焼損面積	30,412平方メートル（被災延べ床面積）
気象状況	気温 18.4℃ 湿度 54.7% 最大瞬間風速 27.2m/s 南南東

2. 火災経過

○平成 28 年 12 月 22 日（木）

10 時 20 分頃・出火

10時28分 - 消防への通報、出動

10時35分 - 現場到着

11時21分 - 最初の飛び火による出火を確認

12時00分 - 上越地域及び新川地域消防組合消防本部
(富山県)に応援要請

12時22分 - 本町及び大町2丁目に避難勧告

12時47分 - 糸魚川地区生コン組合に水の搬送要請
国土交通省北陸地方整備局へ排水ポンプ車等の支援要請

13時00分 - 糸魚川市が「糸魚川市駅北大火災害対策本部」を設置(平成29年3
月23日まで36回会議開催)

13時10分 - 新潟県広域消防応援要請

13時59分 - 新潟県が自衛隊の災害派遣を要請

15時45分 - 北アルプス広域消防本部(長野県)に応援要請

16時30分 - 大町1丁目に避難勧告

20時50分 - 鎮圧(火勢が衰え延焼拡大危険の減少)



○平成28年12月23日(金)

13時30分 - 自衛隊撤収

16時30分 - 鎮火

○平成28年12月24日(土)

16時00分 - 避難勧告の解除



3. 出動車両、人員

① 消防関係(消防本部、消防団等)

12月22日(木): 消防車等122台、活動人員997名

12月23日（金）：消防車等 113 台、活動人員 890 名

⇒合計 消防車等 235 台、活動人員 1,887 名

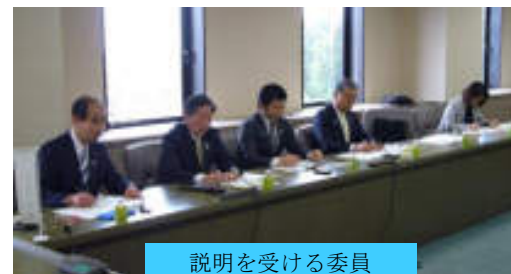
(参考：平成 30 年 4 月 1 日現在)消防職員 91 名、消防団員 999 名

② 関係機関（活動終了まで）

北陸地方整備局 車両等 12 台、人員 105 名

糸魚川警察署 所属 38 部署、人員 515 名

陸上自衛隊 車両等 42 台、人員 177 名 等



説明を受ける委員

③ 民間協力（残火処理等含む）

建設業関係 業者 4 社 車両等 19 台 簡易水槽 13 基

製造業関係 業者 3 社 車両等 32 台（ミキサー車）

給油所関係 業者 2 社 車両等 4 台 等



焼け野原となった商店街

4. 復興に向けて

▷ 支援適用法令

- ・ 12 月 22 日（木） 災害救助法の適用
- ・ 12 月 30 日（金） 被災者生活再建支援法の適用

※強風による大規模火災に同法が適用されるのは初めて。

▷ 全国から平成 29 年 1 月 31 日までに義援金は約 33 億円、見舞金約 10 億円、また大火発生後ふるさと納税が急増し、その寄付額は約 43 億円に上った。



現地視察する委員

▷ 被災した家屋等のがれき処理

糸魚川市では、早期の復旧・復興を目的に、がれき処理等に要した経費の 100%を

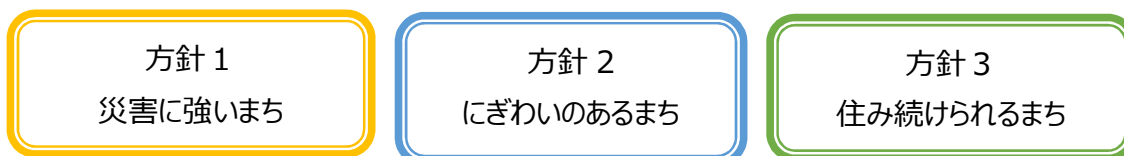
補助した。また市が所有者の同意を得て、所有者に代わって、がれき処理を実施した。

▷ 平成 29 年 8 月「糸魚川駅北復興まちづくり計画」を策定

計画期間：平成 29 年度～平成 33 年度の 5 年間

被災地 4ha を優先的に復興まちづくりに取り組む「重点地域」とし、被災地周辺を含めた糸魚川駅北地域の中心市街地 17 ha を「計画対象地域」とする。

～ 3 つの方針で復興まちづくりを迅速かつ着実に推進 ～



▷ 平成 30 年 1 月、糸魚川市は大火を踏まえ、大規模災害があった一部の地域を対象に、高さ 5 m 以上の耐火性が高い建物しか建築を認めない条例を施行した。

○主な質疑

(質問) 使用した簡易水槽の容量と数はどれくらいか。また簡易水槽保有状況は。

(答弁) 20 以上使用した。林野火災を想定し、消防団 19 分団に 2500ℓ簡易水槽が 1 基ずつあり、建設会社等も所有していた。

(質問) 店舗に消火器はなかったのか。

(答弁) 設置していたが、実際使用していなかった。今回、条例で延べ床面積 150 m² 未満の小規模飲食店にも消火器設置義務の拡大化をおこなった。

(質問) 災害を経験し、常備・非常備消防の対策などの教示を。

(答弁) 初期消火活動がなく被害が拡大したため、住民でも近くの消火栓を使用できるように開閉機器や 40 mmホースも設置した。さらに地下式から地上式の消火栓に変更した。市民の火災予防意識の向上が必須である。



富山県富山市

「TOYAMA キラリ」について

富山市は全国的にくすりのまちとして有名で、明治・大正期には、薬の周辺産業としてガラスの薬びんの製造が盛んに行われた。近年は環境、バイオ、IT関連産業の育成に努めるとともに、立山連峰や越中おわら風の盆といった観光資源をいかした、観光産業の発展にも取り組んでいる。



TOYAMA キラリ外観

1. 再開発事業

TOYAMA キラリ（とやまキラリ）は、富山市立図書館本館、富山市ガラス美術館、富山第一銀行本店などが入居する複合施設である。

▷ 2010年：中心市街地のシンボルであった老舗デパート跡地での再開発事業により、図書館本館、ガラス美術館の整備を表明。複合的に整備し、文化や情報など豊かな知的資源を享受できる環境としての相乗効果を創出するプランを発表

▷ 2013年5月：再開発ビルの起工

▷ 2015年8月：オープン



中心の吹き抜けが特徴

2. 所有の経緯

(1) デパート跡地は元々地元地権者組合の所有

「西町南地区市街再開発組合」として

⇒ 平成22年にプロポーザル方式（企画提案型）で公募を行い

① 金沢市の「株式会社RIA（隈研吾デザイン含む）」

② 富山市の「三四五建築研究所」

①と②の設計業者共同事業体（JV）で選定された。

⇒ 平成24年にプロポーザル方式（企画提案型）で公募を行い

③ 清水建設株式会社（本社：東京都）

④ 佐藤工業（株）（富山市）

③と④の建築業者共同事業体（JV）で選定された→「特定業務代行者」

（２）平成２２年に富山第一銀行が保留床取得を表明していたことから、富山市としては、富山市総合計画（平成１９年～２８年）」に位置付けられていた「富山市ガラス美術館」および「富山市立図書館本館」の施設整備をおこなう目的として、平成２７年に西町南地区市街再開発組合から保留床取得をおこなう。

⇒ 富山第一銀行と富山市の「区分所有」となる。

3. 総事業費

○総事業費約１８３億円の内訳について

（１）富山市１０２億円。

① 国交省からの補助金「社会資本整備総合交付金（愛称：まちづくり交付金）」から３０億円を充当

② 市債５５億円

※ ①＋②＝８５億円で保留床取得をおこなう

③ 「市街地再開発事業補助金」として、１７億円

（２）国、富山県から「市街地再開発事業補助金」として、４１億円。

（３）富山第一銀行４０億円。

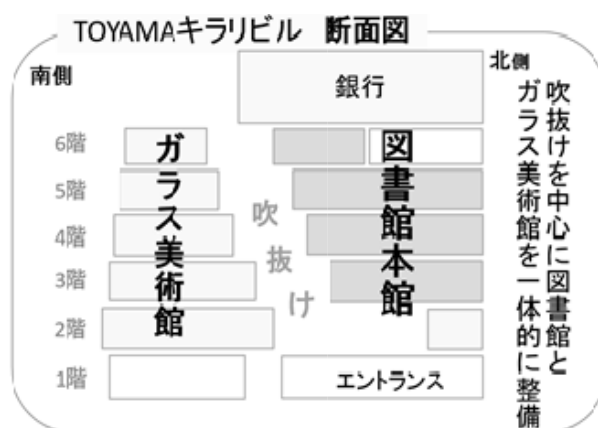
4. 施設概要

○敷地面積：4,414.67 m²

○階数：地下１階・地上１０階

▷ 世界的建築家隈研吾氏によるデザイン。

富山を代表する山脈である立山の山肌のような、ひとつのガラス作品のようなキラキラしたイメージの外観。



▷ アルミとガラスと御影石を様々な角度に配置した外壁パネルは、その日の天気や時刻により、繊細にきらめく反射を生み出す。

▷ 1階～6階が図書館本館、ガラス美術館。1階と7～9階が銀行となる。図書館と美術館は吹き抜けをはさんで各階、南北に配置し、互いの空間を見渡せる「透ける」空間としている。

▷ 市の、コンパクトシティ推進政策により、公共交通の利用を推奨し、利用者駐車場を設けていない。

▷ TOYAMA キラリ公益施設入館者数：1,907,271人（平成30年5月1日現在）。

▷ 1階情報コーナーでは午前7時から新聞や雑誌を閲覧可能。

▷ 全館 Wi-Fi 環境も整っている。

▷ 2階スペースでは定期的にピアノコンサート等を開催。



5. 富山市ガラス美術館

（料金：常設展）大人 200 円※高校生以下と 70 歳以上の富山市民は入場無料

▷ 企画展示室【展示室 1・2】（2・3階）

現代ガラス芸術作品をはじめ、様々な美術作品を展示

▷ 常設展示室【展示室 4】（4階）

富山市所蔵の作品を展示する「コレクション展」を開催

・市所蔵の作品約 400 点の中から作品を紹介。年 2 回展示替えを行なう。

▷ グラス・アート・パサージュ（2階～4階）



富山ゆかりのガラス作家の作品約 50 点を展示室の壁面や図書館内に展示。

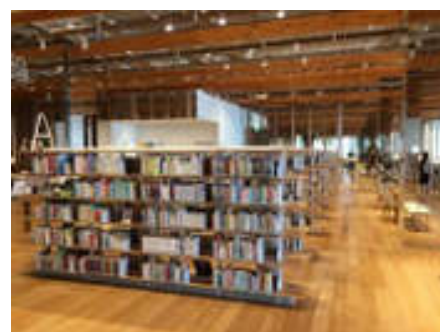
▷ グラス・アート・ガーデン（6階）。

アメリカにおける現代ガラスアートの巨匠デイル・チフリー氏のインスタレーション（空間芸術作品）5 作品を展示。

6. 富山市立図書館本館

デパート跡地のまちなかの交流拠点であることから、旧来の静謐な図書館ではなく、少々の雑音を許容し、にぎわい感のある「リビングのような」図書館。

6階	書庫、事務室
5階	参考図書フロア
4階	一般図書フロア
3階	児童図書フロア
2階	カフェ、ミュージアムショップ
1階	情報コーナー



一般図書フロア



蔵書：開架 14 万冊、閉架 31 万冊（IC タグで管理）

職員：市職員 28 名、委託職員（窓口）14 名相当体制

貸出登録者：約 104,000 人 市民登録率 約 25.1%

貸出冊数（市内全体）：1,827,579 冊、5,034 冊/日、

市民 1 人当たり約 4.4 冊

▷ 蔵書は貸出手続きを行う前に 2 階のカフェに持ち込んで読むことも可能。

▷ 3 階と 5 階にレファレンスカウンターがある。

▷ カウンター前には予約図書受取室や自動図書貸出機・自動返却ブックポストが設置されている。

▷ 企業等（スポンサー）が雑誌代金を負担すると、図書館本館5階雑誌コーナーに配置する雑誌最新号の表紙カバーに広告等を掲載できる。現在、約300誌にスポンサーがついている。

○主な課題

▷ 来館者は新本館になって旧本館時代に比べ3倍となったが、貸出冊数や利用者登録数は横ばい。

⇒これと思える1冊に出会っていただくためにさらなる工夫が必要。

